

第 58 回名古屋臨床神経病理アカデミー  
プログラム

2022 年 7 月 2 日（土曜日）

オンライン

# 第58回名古屋臨床神経病理アカデミー (日本神経病理学会・名古屋地区地方会) ランチオンセミナー

日時: 2022年7月2日(土) 11:50～12:50

11:50 製品紹介

12:00～12:50

座長: 名古屋大学大学院医学系研究科  
精神医学 特任准教授 藤城 弘樹 先生

## 「変性性認知症の画像診断 —CPCだからこそ学べた経験を基に—」

国立長寿医療研究センター  
放射線診療部 放射線診療科医長 櫻井 圭太 先生

\* 本セミナーはLIVE配信を行います。  
詳細はプログラムのご案内をご確認ください。

※個人情報につきましては、弊社において以下の目的で利用させていただきます。  
予めご了承賜りますようお願い申し上げます。  
1. 医薬品の適正使用に関する情報等のご提供

2022年7月2日（土曜日） オンライン

11時20分-11時40分 世話人会

11時50分-12時00分 ランチョンセミナー（PDRファーマ（株）共催）

「製品紹介」PDRファーマ株式会社

12時00分-12時50分

特別講演「変性性認知症の画像診断—CPCだからこそ学べた経験を基に—」

演者 櫻井 圭太先生（国立長寿医療研究センター放射線部 放射線診療科医長）

座長 藤城 弘樹先生（名古屋大学大学院医学系研究科精神医学特任准教授）

櫻井 圭太先生 ご略歴

H14年、名古屋市立大学医学部卒業。豊川市民病院にて2年間のローテーション後に、名古屋市立大学放射線医学分野に入局。名古屋市立大学放射線医学分野、東京都健康長寿医療センター放射線診断科での勤務を経て、H30年、帝京大学医学部放射線科学講座准教授。R2年4月～現在、国立長寿医療研究センター放射線診療部医長。

変性性認知症、神経変性疾患及び脳脊髄液漏出の画像診断を専門分野とし、Journal of Alzheimer's Disease, Neuroradiology, Neurology, Cephalalgia, Headache, Movement Disorders Clinical Practice, Neuroimage: Clinical, Annals of Nuclear Medicine, European Neurology など種々の英文誌に研究成果を上梓している。

Journal of Alzheimer's Disease 誌の associate editor、日本神経学会学会誌「臨床神経学」第12期編集委員、日本神経病理学会関東地方会及び名古屋神経病理アカデミーの神経画像コンサルタント、東海神経放射線勉強会の代表世話人や各種学会での教育講演、厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業 神経変性疾患領域における基盤的調査研究班（J-VAC study）への参加、警視庁、愛知県警、弁護士等からの依頼による小児頭部外傷の画像鑑定などの活動も行っている。

休憩（10分）

13 時 00 分- 症例検討会（臨床、画像、脳病理）

開会の挨拶

入谷修司先生（桶狭間病院藤田こころケアセンター附属脳研究所）

神経画像コメンテーター 櫻井圭太先生（国立長寿医療研究センター）

（各症例、臨床発表 10 分、画像解説 5 分、神経病理発表 10 分、討論 5 分）

13 時 00 分-13 時 30 分

### 症例 1

パニック障害が認知機能低下・パーキンソニズムに先行したレビー小体型認知症の一剖検例

座長 岩井 清先生（もりやま総合心療病院）

○荒深周生<sup>1,2)</sup>、関口裕孝<sup>3)</sup>、藤城弘樹<sup>1)</sup>、鳥居洋太<sup>1)</sup>、三輪綾子<sup>4)</sup>、羽瀧知可子<sup>5)</sup>、吉田眞理<sup>2)</sup>、岩崎靖<sup>2)</sup>、入谷修司<sup>1,3)</sup>

1)名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、2)愛知医科大学加齢医科学研究所、3)桶狭間病院藤田こころケアセンター附属脳研究所、4)もりやま総合心療病院、5)愛知県精神医療センター

13 時 30 分-14 時 00 分

### 症例 2

50 歳代に被害的な幻聴・妄想が出現し 70 歳代で剖検に至った、遅発性統合失調症の一例

座長 岩田 拓先生（あさひが丘ホスピタル）

○竹田和弘<sup>1,2,6)</sup>、藤城弘樹<sup>1,2,3)</sup>、鳥居洋太<sup>1,2)</sup>、三輪綾子<sup>2)</sup>、関口裕孝<sup>4)</sup>、羽瀧知可子<sup>5)</sup>、宮原弘明<sup>6)</sup>、吉田眞理<sup>6)</sup>、岩崎靖<sup>6)</sup>、入谷修司<sup>1,2,4,5)</sup>、川島邦裕<sup>2)</sup>

1)名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、2)もりやま総合心療病院、3)かわさき記念病院、4)桶狭間病院藤田こころケアセンター附属脳研究所、5)愛知県精神医療センター、6)愛知医科大学加齢医科学研究所

14時00分-14時30分

### 症例3

顕著な妄想を呈し、精神疾患と肝性脳症の鑑別診断を要した66歳男性

座長 関口 裕孝先生（桶狭間病院藤田こころケアセンター）

○藤城弘樹<sup>1)</sup>、河上緒<sup>2),3),4)</sup>、大島健一<sup>3)</sup>、新里和弘<sup>3)</sup>、鳥居洋太<sup>1)</sup>、入谷修司<sup>1),5)</sup>、池田研二<sup>3),4)</sup>

1)名古屋大学大学院医学系研究科精神医学、2)順天堂大学精神医学、3)都立松沢病院、4)東京都総合医学研究所、5)桶狭間病院桶狭間病院藤田こころケアセンター附属脳研究所

休憩（10分）

14時40分-15時10分

### 症例4

原発性側索硬化症の臨床像を呈した進行性核上性麻痺の一例

座長 安井 敬三先生（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）

○古泉龍一<sup>1)</sup>、○齋藤由扶子<sup>2)</sup>、赤木明生<sup>1)</sup>、陸雄一<sup>1)</sup>、宮原弘明<sup>1)</sup>、曾根淳<sup>1)</sup>、吉田眞理<sup>1)</sup>、岩崎靖<sup>1)</sup>、饗場郁子<sup>2)</sup>

1)愛知医科大学加齢医科学研究所、2)独立行政法人国立病院機構東名古屋病院脳神経内科

15時10分-15時40分

### 症例5

C02 ナルコーシスで搬送され、アルツハイマー病理を伴っていた筋萎縮性側索硬化症患者の剖検例

座長 後藤 洋二先生（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）

○守吉秀行<sup>1),2)</sup>、鈴木淳一郎<sup>3)</sup>、伊藤泰広<sup>3)</sup>、赤木明生<sup>2)</sup>、陸雄一<sup>1) 2)</sup>、曾根淳<sup>1)</sup>、宮原弘明<sup>2)</sup>、吉田眞理<sup>2)</sup>、岩崎靖<sup>2)</sup>

1) 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学、2) 愛知医科大学加齢医科学研究所、3) トヨタ記念病院 能神経内科学

15時40分-16時10分

#### 症例6

筋萎縮症と診断されていた全経過25年の75歳女性

○吉田真理<sup>1)</sup>、大塚康史<sup>2)</sup>、赤木明生<sup>1)</sup>、陸雄一<sup>1)</sup>、宮原弘明<sup>1)</sup>、曾根淳<sup>1)</sup>、岩崎靖<sup>1)</sup>

座長 丹羽 淳一先生 (愛知医科大学)

1) 愛知医科大学加齢医科学研究所、2) JA 岐阜厚生連東濃中部医療センター 土岐市立総合病院 神経内科

16時10分-

閉会の挨拶、次回開催のご案内

吉田 真理先生 (愛知医科大学加齢医科学研究所)